

三 菱 村

---

新 年

---

懇 親 會

---

と

---

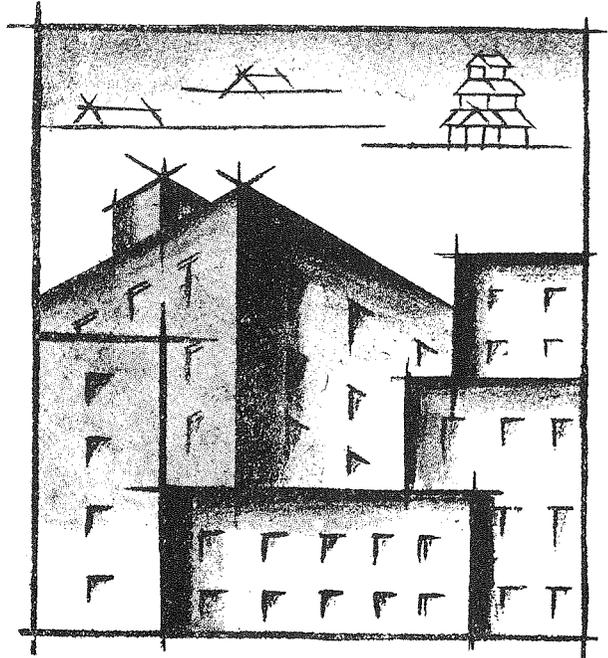
丸ノ内現勢

---

一月十二日

---

帝 劇 に 於 て



○  
 諒闇明けの新年をあかるくする爲めの第一着の催があつた。丸の内の所謂三菱村の大家さんたる三菱地所部が借家人たる或は借地人たる丸ノ内の大小諸會社事務所一切を招待して一月十二日午後帝劇に新年懇親會…と云ふよりも觀劇會を開いた、何れも社長代理の人が多く千數百名の賑かさ、幸四郎、宗十郎一派の神靈矢口の渡の一幕の次に主催者の挨拶があつて、次に澁澤、大倉、末延の三長老のあいさつがあり、陛下の萬歳を三唱した、次に吉例會我の對面的一幕に梅幸、幸四郎が藝術の芽えを見せ、食堂が開かれて中々の盛會であつた。

○  
 澁澤老子爵は此席でも經濟と道德を説かれた、大倉九十二翁は丸の内が大名小路と稱して江戸第一の繁華の屋敷町であつた事から、明治維新後兵隊屋敷になり、大風でツブレて他に兵舎を新築する費用の爲めに此の地所を賣る事になり大倉、澁澤兩青年の盡力で遂に岩崎に買つて貰つたこの懷舊談があつた、其當時の事まで松方正義氏が岩崎彌之助氏へす

ゝめるのに、將來此の地所は一坪金二十五圓位にはなるだらう、それだから今一坪十一圓五十錢位で買つてくれても良いだらうこの事で賣買が決つた由である。それが昭和の今日では一坪何千圓でも中々買へない。

丸 の 内  
 の 現 勢

昭和二年末の調査を地所部が次の如く發表した。

大小のビルデング	66棟
大小の會社事務所數	1,292社
其れに關係せる社員	27,940人
内 外國人	363人
女事務員	3,156人
諸會社の資本總額	26億7千萬圓
内 拂込	16億萬圓で全國の13%

丸の内中央郵便局一日の扱ひ郵便物 180萬通  
 東京驛の乗降客一日 6 萬人

現在工事中の大ビルデング、八重洲、海上、第一、中央其他が近く出來上れば以上の數は又ズツとふえる、其他に尙ほ2萬坪の空地がある、之を今後能率的な建築に利用されたら三菱村も益々ドエライ村となる。